

申立書

年 月 日

生駒市長 殿

所有者 住所

氏名

このたび、私が新築又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1. 家屋の表示

所在地 奈良県生駒市

家屋番号

2. 入居予定日 年 月 日

3. 現在の家屋の処分方法等

	処分方法等	添付書類
持家	☐ 売却する ☐ 賃貸する ☐ 親族が引き続き居住する ☐ 未定	売買契約書・媒介契約書等 賃貸契約書・媒介契約書等 親族からの上申書 入居が登記の後になる理由を疎明できる書類
持家以外	☐ 賃貸契約の解除等 (現住家屋が借家、社宅、寄宿舍、寮等)	賃貸借契約書、使用許可証、家主の証明書など (自己の所有物件ではないことの確認できる書類) ※現在家屋が親族所有の場合は、親族からの上申書

4. 入居が登記の後になる理由(どちらかに☑)

☐ 当該家屋の取得(建築)資金を借りるので抵当権の設定を急ぐため

☐ その他(理由:)

5. 備考

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明書を取り消され、所轄官署から税額の追徴を受けても異議ありません。